



写真は提供していただいたものを掲載しています。

### 100歳おめでとうございます ～宮下喜美江さん(明和町)

宮下喜美江さんが5月13日、めでたく100歳の誕生日を迎え、同日、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

宮下さんは、3人の子宝に恵まれ、若い頃は病院で患者の方に食事を作る仕事をしていました。人と会って話をすることが好きだという宮下さんは、市の健康体操にもよく参加していたそうで、趣味の大正琴は、センターで弾くほど上手だったと話します。

これからも元気で長生きしてください。



### 雇用創出、地域産業の振興に期待 ～K T M株式会社と立地協定を締結

5月18日、本市はK T M株式会社と企業立地に關する協定を締結しました。

K T M株式会社は、冷凍キハダマグロの1次加工品を製造する会社として平成30年1月に本市に設立され、今回、主に枕崎漁港及び山川漁港に水揚げされる冷凍キハダマグロを加工し、出荷するための工場を仁田浦町に新設することから、立地協定を締結しました。

今回新設される工場は、取引先のニーズに応じたH A C C P (ハサップ) 対応であり、今後、生産品の一部を海外に輸出する計画もあります。また、新たに25名から30名の雇用が見込まれるほか、カツオの水揚げ量の増加や、鯉節の原料確保にもつながることから、本市の地域産業のさらなる振興が期待されます。



### “うんまが”はコロナに負けない。 ～枕崎市民20,447人のテイクアウトプロジェクト

新型コロナウイルス感染症による外出自粛が続く中、客足が遠のいた飲食店を支援しようと、枕崎商工会議所青年部、枕崎市通り会連合会など複数の団体が団結し、「#枕崎エール飯」のチラシを発行しました。

「#枕崎エール飯」のチラシには、市内39カ所の飲食店のテイクアウト情報が掲載されており、広報まくらざき5月号に折り込まれ、各家庭に配布されました。

チラシ配布後は、各飲食店へのテイクアウトの注文が増え、飲食店の支援に一翼を担いました。



### 収穫が楽しみ♪ ～妙見保育園で毎年恒例の芋植え体験

5月22日、妙見保育園で毎年恒例の「芋植え体験」が行われ、年少から年長までの50名の園児が参加しました。芋植えの作業では、地元の農家の方に教えてもらいながら、芋植え棒を使って次々に苗を植えていきました。

年長組の辻衣真ちゃんは「棒を使って上手にできたので、難しくなかった。楽しかった」と話してくれました。今回植えた約500本の苗は、10月頃に園児のおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に収穫予定で、収穫した芋の一部は、保育園で「焼き芋と腹皮の給食」として提供される予定です。

## コロナに負けるな！支援続々と ～皆さんの支援に感謝いたします

全国で新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、市内外の事業所の皆さんからさまざまな支援をいただきました。

皆さんの支援に感謝いたしますとともに、いただいた支援の内容を紹介します。



4月30日、市内の小中学校に通う児童・生徒の感染症予防のため、株式会社MRCから消毒液の代替品として、衛生高除菌水(20ℓ×16箱)が寄贈されました。

衛生高除菌水は、食品業界などで幅広く使用されているもので、高い除菌力を有し、また使用者や環境にも安全な弱酸性の次亜塩素水溶液です。

同社の松野下亮さんは、「未来の若者の学びの場を安心して提供できるように活用してほしい」と話しました。

寄贈された衛生高除菌水は、市内の各小中学校に配布されました。



5月11日、新型コロナウイルス感染症対策の経費に充ててほしいと鹿児島県建設業協会加世田支部及び枕崎建設業組合から支援金の寄附がありました。

同日行われた支援金の贈呈式で長野義哉副支部長は、「枕崎市、南薩地域に新型コロナウイルス感染症が発生しないように役立ててほしい」と述べました。

寄附された支援金は、今後、子育て世代への新型コロナウイルス感染症対策経費として活用される予定です。



5月1日、薩摩酒造株式会社から手指消毒用エタノールの代替品として「SATSUMA SPIRITS 77%」(300ml×500本)が寄贈されました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、手指消毒用エタノール不足が深刻化する中で、医療機関等においてやむを得ない場合に限り、高濃度エタノール製品を手指消毒用エタノールの代替品として使用することが認められました。これを受けて、薩摩酒造株式会社では消毒用エタノールの代用を目的とした「SATSUMA SPIRITS 77%」を製造し、今回、市へ寄贈しました。

寄贈された「SATSUMA SPIRITS 77%」は、市の医師会、歯科医師会、薬剤師会の医療関係機関へ配布されました。



全国的にマスクが不足する中、5月7日に株式会社ディ・シー・ティから医療・福祉関係者や児童・生徒のために使ってほしいと、マスク4,000枚が寄贈されました。

寄贈されたマスクは、後日、医療関係者や保育園、介護施設などの福祉関係者、学校関係者に配布されました。